

(様式1) 平成17年度 事務事業評価表					
記入年月日	平成17年4月8日		記入者	内線	5633
部名	保健所	課名	保健予防課	課長名	矢島 義明
事務事業名	難病対策事業				
予算上の事務事業名	特定疾患保健指導事業				
1 総合計画における位置づけ	施策コード		12220		
基本目標	「学びあいあたたかさのある福祉文化都市」をめざして				
政策名	第2章 生涯にわたる健康づくりを進めます				
基本施策名	第2節 市民健康づくりの推進				事業開始年度
施策名	第2施策 保健サービスの充実				平成12年度 ▼
2 実施根拠及び関連法令・条例等					
難病特別対策推進事業実施要綱					
3 個別計画の概要			概要		
計画名	さがみはら健康プラン21		基本目標：健康づくりの実践により、生涯にわたる健康づくりを進めます。		
計画年次	14	年度～	18	年度	(3) 疾病対策と健康づくり 難治性疾患
4 事業形態の区分		サービス提供 ▼			
5 事業概要					
(1) 事業の目的(何のために行うのかまたはもたらしたい成果)			(2) 対象(誰、何)		
難病患者及びその家族の療養上の不安解消を図るとともに、きめ細やかな支援が必要な難病患者に対して、地域の医療機関・関係行政機関との連携のもとに、適切な在宅支援を提供し、難病患者の生活の質(QOL)を高め、患者・家族を支援することを目的とする。			難病患者及びその家族		
(3) 平成16年度事業の内容(活動)・・・いつ、どのような方法で実施した内容(活動)なのか。					
<ul style="list-style-type: none"> ・訪問事業 年間 延件数200人 ・医療相談事業 (6月～2月) 6回 参加者 230人 ・専門医等による相談者数 6月、12月、1月 3回 8人 ・相談事業 年間 1,662人(面接1,314人、電話348人) ・「患者・家族の会」 年間 17回 292人 					
6 関連・類似事業や他市の状況					
神奈川県特定疾患保健指導事業 県域において、同様の事業を実施している。					
7 事業費の推移 [単位：千円]					
年度	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算見込)	平成17年度(予算)	平成18年度(見込)
事業費	1,409	1,448	1,439	1,787	1,608
一般財源	935	1,061	1,067	1,202	1,082
受益者負担金	0	0	0	0	0
その他の特定財源	474	387	372	585	526
人件費の合計	13,424	12,816	12,912	12,912	12,912
事業コスト合計(a)	14,833	14,264	14,351	14,699	14,520
8 事業効率・・・(複数の事業で構成されている場合は、その中の主たる事業)					
主たる事業名	講演会		対象名称(単位)	参加者数(人)	
年度	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算見込)	平成17年度(予算)	平成18年度(見込)
事業コスト(主たる事業)	14,833	14,264	14,351	14,699	14,520
対象数	164	166	199	170	180
単位あたり経費(円)	90,445	85,928	72,116	86,465	80,667
前年度比		0.95	0.84	1.20	0.93

9 活動指標・・・実施した内容（活動）の数値化					
指標名 (単位)	参加人数（人）	指標式と指 標の説明	参加者数		
	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度（目標）
実績	164.0	166.0	199.0		
目標	170.0	170.0	200.0	170.0	180.0
目標達成度	0.96	0.98	1.00		
10 成果指標・・・対象と意図の達成度を表す指標					
指標名 (単位)	参加者の満足度（％）	指標式と指 標の説明	受講に満足している人／参加者＊100 受講に満足している人の割合		
	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度（目標）
実績	92.0	93.0	91.5		
目標	95.0	95.0	95.0	95.0	95.0
目標達成度	96.8	97.9	96.3		
11 個別評価					
(1) 妥当性の評価 【A：妥当である・B：妥当性に課題がある・C：妥当でない】					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	法令等により実施することが義務付けられている。			
	<input type="checkbox"/>	法令等に定められた市の責務を具体化して実施する事業である。			
	<input type="checkbox"/>	公益性が高い、または必要性が高い事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	将来にわたって、市民のニーズや行政需要がある。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	税金を投入して実施するにふさわしい事業であり、市民にも説明できる。			
(2) 有効性の評価 【A：有効である・B：有効性を高める余地がある・C：有効でない】					
B	<input checked="" type="checkbox"/>	上位施策の目的を達成するために大きく貢献している。			
	<input type="checkbox"/>	課題等の解決や市民生活に大きく貢献している。			
	<input type="checkbox"/>	成果指標の実績値とその推移から見て、期待されるような成果をもたらしている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	事業の対象範囲は適切であり、対象は事業を実施したことによる効果を楽しんでいる。			
(3) 効率性の評価 【効率が良い・B：効率性を高める余地がある・C：効率が悪い】					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	単位あたりの経費は適正である。			
	<input type="checkbox"/>	これ以上コスト節減の余地がない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	受益者負担や補助等の割合に問題はない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	事業の実施方法や実施体制は適正である。			
(4) 民間活力の導入の可能性 【有・無】					
無	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方が経費の節減に繋がる。			
	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方が技術・知識面で優れている。			
	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方がサービス面で優れている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	民間では実施していない、または市が実施する方が優れている。			
12 総合評価					
(1) 自動判定結果					
	[]	良好な状態を維持する事業			
	[]	概ね良好な状況である事業			
	[]	見直しを行う必要がある事業			
	[]	抜本的な見直し、休止、廃止を検討すべき事業			
(2) 担当課の課長による評価（今後の方向性）			(3) 課長の評価に関する説明		
現状維持	<input type="checkbox"/>	拡充・充実		特定疾患医療受給者証所持者は年々増加傾向にあり、難病対策事業の対象者も増加することが見込まれる。事業については、現状維持で実施するものの、事業効果等を検証し、時代のニーズに応じていく必要がある。	
	<input checked="" type="checkbox"/>	現状維持			
	<input type="checkbox"/>	見直し			
	<input type="checkbox"/>	廃止			
13 成果の向上及び効率性を高めるための方策			14 課題として認識されたこと		
難病対策事業の実施に当たり、難病患者の意見等を聴取し、事業に反映させるよう努めると共に事業の周知を図る。また、経費と事業効果を検証し、効率性を高めるよう検討する。			難病対策事業の各種サービスの効果的な提供を行うため、医療関係機関等との連携を構築する。 (平成17年度 地域支援ネットワーク会議を設置)		
15 二次評価					
(1) 行政評価会議による評価（今後の方向性）			(2) 二次評価コメント		
現状維持	<input type="checkbox"/>	拡充・充実			
	<input checked="" type="checkbox"/>	現状維持			
	<input type="checkbox"/>	見直し			
	<input type="checkbox"/>	廃止			